

委嘱作曲家

作曲家 松本 望



北海道出身。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業(審査員満場一致)。これまでに作曲を土田英介、尾高惇忠の各氏に、ピアノを三角祥子、北島公彦、浜口奈々、E.Berchotの各氏に、伴奏法をJ.Koerner氏に師事。

2000年PTNAピアノコンペティションソロG級全国大会銀賞。2003年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞、受賞作品をはじめ自作曲集、編曲集等の出版多数。2007年第4回リヨン国際室内楽コンクール(フランス)第1位及び特別賞(ヴァイオリンとピアノのデュオ)。2008年度文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研員。2009年第55回マリア・カナルス国際音楽コンクール(スペイン)・ピアノトリオ部門第1位。

在学中より作曲と演奏の両分野で活動を展開し、作曲では今年、2015年以来7年ぶりにNHK全国学校(合唱)音楽コンクール課題曲の作曲者となり注目を集める。演奏ではアンサンブルを中心に活動、国内外のアーティストと共演を重ねるほか、CDレコーディングに多数参加。アンサンブルピアノのための入門書『合唱エクササイズ・ピアニスト編(カワイ出版)』を2017年よりシリーズで刊行中。

現在、国立音楽大学ピアノ科、洗足学園音楽大学作曲科、各非常勤講師。東京藝術大学弦楽科伴奏助手。

出演者



常任指揮者 名島 啓太



立教大学社会学部卒。在学中に合唱指揮活動を始め、日本合唱指揮者協会主催の若手指揮者によるコンサートに出演。その後、「JCDA合唱の祭典〜北とびあ合唱フェスティバル」、「東日本大震災復興チャリティーコンサート」、「二群合唱のための夕べ」といった様々な演奏会の企画・出演、また作曲など、多彩な活動を展開している。新作初演にも力を注いでおり、これまでに数多くの作曲家の新作初演を手がける。また、数回にわたりNHK全国学校音楽コンクール課題曲の放送初演を指揮し、NHKEテレの「スーパー合唱教室」などに出演した。

混声合唱団鈴優会、新潟大学合唱団を指揮して全日本合唱コンクール全国大会金賞等、各種コンクールで数多く入賞。またプラハのスメタナホールでのモーツァルト「レクイエム」、ザルツブルクのマリアプライン教会でモーツァルト「戴冠ミサ」を指揮するなど、海外での演奏も積極的に、近年では2017年にウィーンのシュテファン大聖堂でモーツァルト「レクイエム」を指揮し、満場スタンディングオベーションを受けるなど、その高い音楽性が絶賛されている。

現在、東京・神奈川・新潟の複数の合唱団の常任指揮者。そのほか客演指揮、各種講習会講師、NHK全国学校音楽コンクール・宝塚国際室内合唱コンクールなど各種大会の審査員を務める。日本合唱指揮者協会理事長。北区合唱連盟理事長。2016年北区教育文化功労賞受賞。「教育音楽」誌(音楽之友社)への執筆や、共編の楽譜集「スチューデント・ソングブック1・2」編者、JCDA日本合唱指揮者協会編纂の「合唱ハンドブック」編集長、共著「合唱エクササイズ指揮編1・2」、作曲作品にはミサ曲第1番「日本から」、混声・女声合唱曲「今日もひとつ」、無伴奏混声合唱のための「三つのモテット」、「四声のミサ曲(ミサ曲第2番)」(カワイ出版)がある。

ピアニスト 岩井 智宏



武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第4回「万里の長城」杯国際音楽コンクール第3位入賞。2005年第24回飯塚新人音楽コンクール入賞。同年東京・大分・長崎の三都市にてソロ&デュオリサイタル開催、第7回日本アンサンブルコンクール連弾部門優秀演奏者賞、全音楽譜出版社賞を受賞。受賞者披露演奏会出演。2003年、2009年草津夏季国際音楽アカデミーマスタークラスに参加、ピアノを遠山慶子、フェリツ・ボーグナーの各氏に師事、イベントコンサート、スチューデントコンサート(選抜)に出演。2017年夢音音楽祭女神湖ミュージックキャンプピアノコースに参加、ピアノをミケーレ・イノチエンティ氏に師事。2007年から2014年ピアノソロ&デュオリサイタル「音のアルバム」を東京オペラシティ等にて開催。2017年、2021年には東京にてピアノソロコンサートを開催。

また、桐蔭学園にて音楽教育の分野においても力を注いでおり、「音楽を通した人間教育」をテーマに様々な研修会、研究会に参加。近年では、イギリス、ハンガリー、アメリカと海外へ渡り日本以外の音楽教育にも触れ、さらなる音楽の可能性を研究している。平成30年度には文部科学省国立教育政策研究所より依頼を受け実践研究協力校授業者として教科調査官来校のもと授業を提案した。令和元年度には日本音楽教育学会第50回東京大会(東京芸術大学)にて常任理事会企画プロジェクト研究で世界的民族音楽研究者であるPatricia Sheehan Campbellの推奨する教材と民族音楽指導方「五つのベタゴジー(World Music Pedagogy)」を用いて公開授業を行う。

混声合唱団鈴優会



1992年9月22日創団。常任指揮者の名島啓太氏、アンサンブル・トレーナーの市原俊明氏のもと、常に音楽文化の発展の一助たらんことを目的とし、日常的に音楽文化と親しみ楽しみながらより質の高い音楽活動を目指している。レパートリーは、ルネサンスから現代音楽、西洋音楽から日本民謡と幅広く、さらには委嘱活動や新作初演なども積極的にを行っている。特に、毎年開催している定期演奏会では、「W. A. モーツァルト宗教音楽シリーズ」と題し、1994年の第4回より20年間、モーツァルトの作品を数多く演奏してきた。また、オペラ劇団の歌役者や器楽演奏者、ダンサーとの共演など、他のジャンルとの交流も積極的に行っている。2022年度第77回東京都合唱コンクール(室内合唱の部)金賞受賞。第70回全日本合唱コンクール全国大会(室内合唱の部)金賞・日本放送協会賞受賞。第58回東京都合唱コンクール全日本合唱連盟理事長賞受賞。都民合唱コンクール連続第1位受賞。東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト(ルネサンス・バロックの部、一般の部)金賞受賞、他入賞多数。

アクセス



【JR渋谷駅西口から徒歩5分】

渋谷区文化総合センター大和田 4階 さくらホール
東京都渋谷区桜丘町23-21

ご来場には、公共交通機関をご利用下さいませようお願いします。

最新情報

- Twitter @rinyukai_GC
- Facebook @rinyukai
- WEBサイト

<http://www.rinyu-kai.org/>

感染症対策を徹底したうえで開催いたします。



ご来場のお客様へのお願い

- ・発熱や風邪の症状等、体調がすぐれない場合はご来場をお控えください。
- ・出演者への花束やプレゼントはお受けしておりません。
- ・ワクチン接種の有無に関わらず、マスクのご着用をお願い申し上げます。